

第45回日本呼吸器内視鏡学会学術集会

ポスター演題 動画作成マニュアル

PowerPoint 2019
Microsoft 365 (Office365)

録音を始める前に

✓	注意・チェック項目	備考
①	発表スライドは、原則「16:9」の画面サイズで作成ください。 時間は4分でお願いします。 可能な方は、お顔出しでお願いします。	「4:3」でも可
②	作成された発表用データ（PowerPointまたはKeynote）を 動画に加工するためコピーファイルを作成ください。	音声の登録はコピーファイルを使用いただきます。
③	発表スライドは以下の構成で作成をお願いします。 1枚目 演題名 2枚目 COI開示に関するスライド 3枚目以降 講演内容	
④	ナレーション録音するにあたって、あらかじめパソコンとマイクかヘッドセットを接続した状態にしてください。マイク装備のついているノートパソコンの場合は、内蔵のマイクでもかまいません。	
⑤	マイクが装備されていないノートパソコンやデスクトップパソコンを使用する場合は、外付けのマイクをつなぎ、音声の録音をお願いします。	
⑥	録音の際は極力、静かな場所で雑音が入らないようお願いします。	
⑦	ページの切り替わり時、ナレーションの録音はされません。 ページの切り替わりを確認し音声を録音してください。	
⑧	非表示設定をしない限り、全てのスライドが動画に組み込まれます。 ご発表に使用されなかったスライドや動画に入れたくないスライドは、削除または非表示スライドに設定してください。	
⑨	録音の前にPowerPointを【スライド一覧】で表示し、 スライドの下に秒数が入っていないか確認してください。	秒数が入っている場合： 画面の自動切り換えを解除
⑩	動画のハイパーリンクは使用できません。 動画を使用の場合は、スライドに【挿入】してください。	
⑪	録音が終了した後に、必ずPowerPointまたはKeynoteデータ（音声付きスライド）の保存も行ってください。 動画データ（mp4ファイルまたはWMVファイル）およびPowerPointまたはKeynoteデータ（音声付きスライド）両方 をアップロードしてください。	Win版PPT2010のみ WMVファイル

準備



① 録音の前にPowerPointを【スライド一覧】で表示します。

② スライドの下に秒数が入っていないか確認してください。

秒数が入っている場合は…

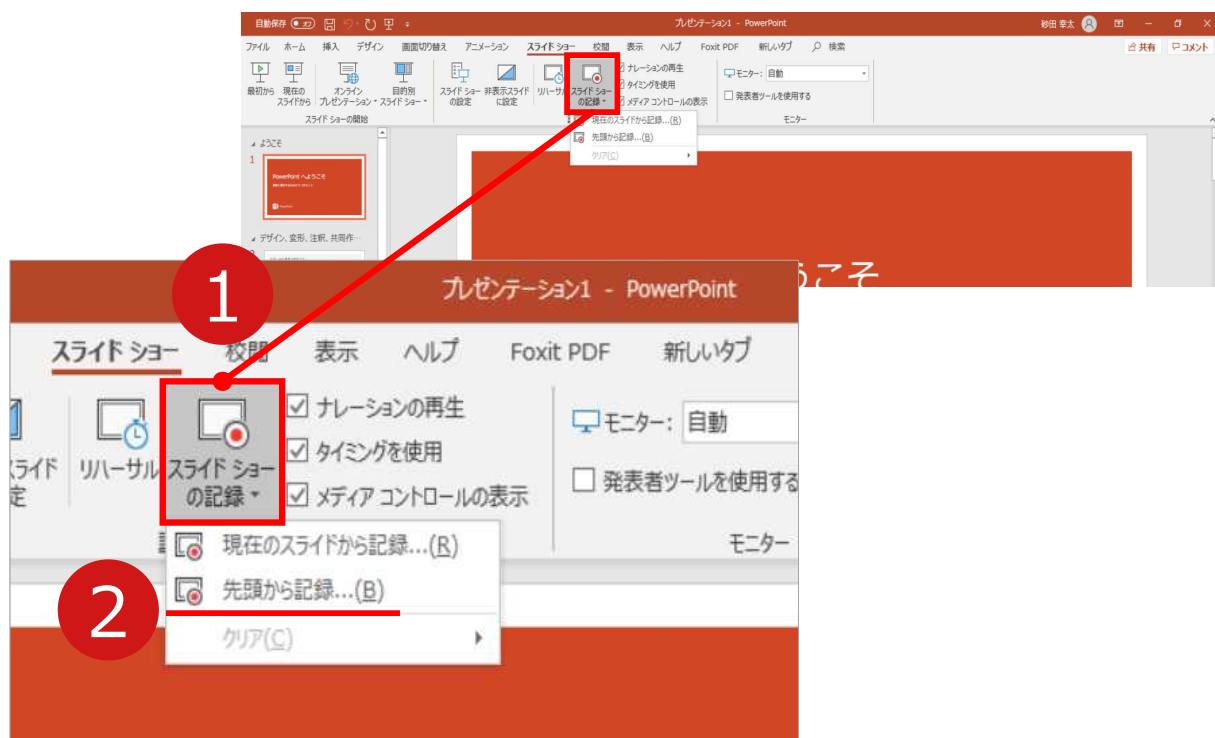
③ リボンの【画面の切り替え】をクリック

④ 【画面の切り替えのタイミング】 → 【自動的に切り替え】のチェックを外してください。



OSやPowerPointのバージョンによって表示が異なる場合がございます。

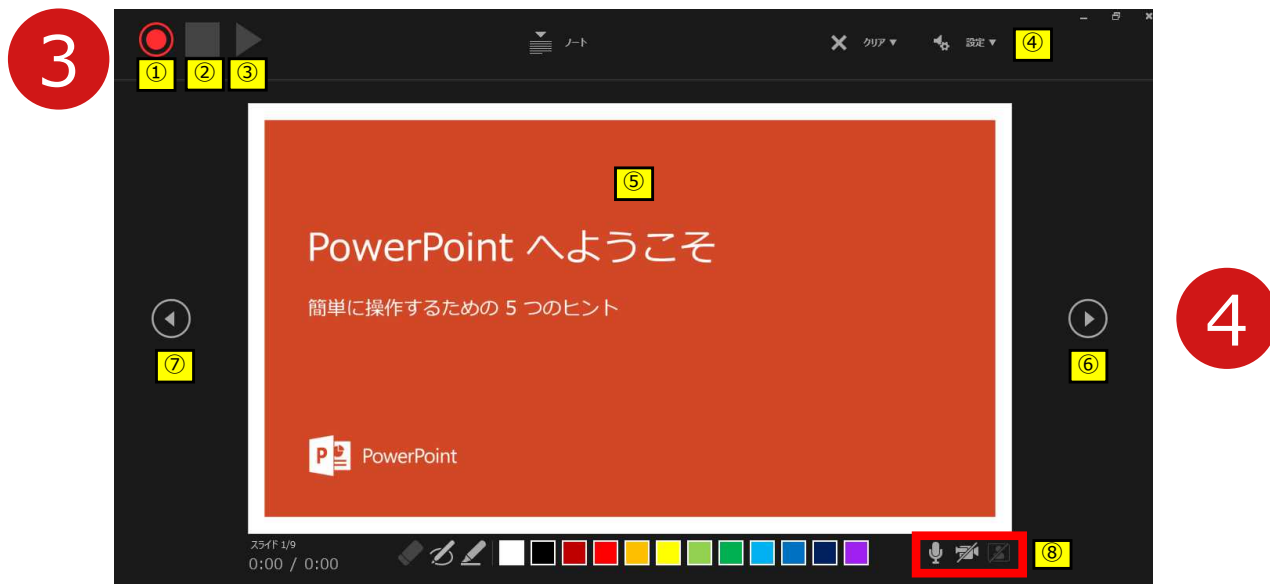
記録（開始①）



- ① リボンの【スライドショー】 → 【スライドショーの記録】 をクリック
- ② 【先頭から記録】 を選択したら記録画面に進んでください。



【先頭から録画】 をクリックすると、録画スタンバイになります。



③ 【**●記録ボタン**】 ① を押し、録音を開始してください。

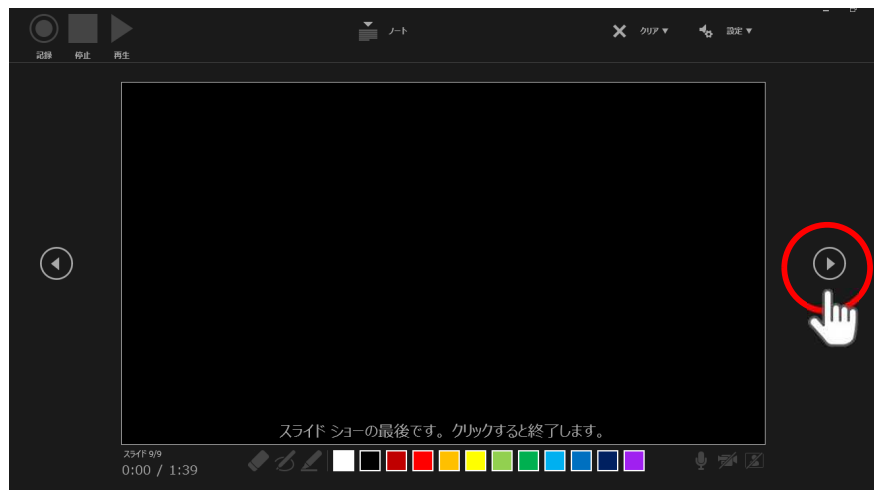
④ スライドは録音に合わせて任意のタイミング ⑥ ▶ で進めてください。

※画面の説明

- | | |
|-----------------|--|
| ①記録ボタン | 録画を開始、一時停止 |
| ②記録停止ボタン | 収録を停止します |
| ③再生ボタン | 録画した映像音声を確認できます |
| ④設定 | 接続したマイクが表示されます。
ヘッドセットを使用の場合、
ヘッドセットの機種名を選択してください。 |
| ⑤PPT画面 | 表示されてる画面が録画されます |
| ⑥進む | 次のスライドに進みます。 |
| ⑦戻る | 録画を停止し、1枚目の戻りプレビューができます。
※録画時は、戻ることはできません |
| ⑧カメラ、マイクのON.OFF | |



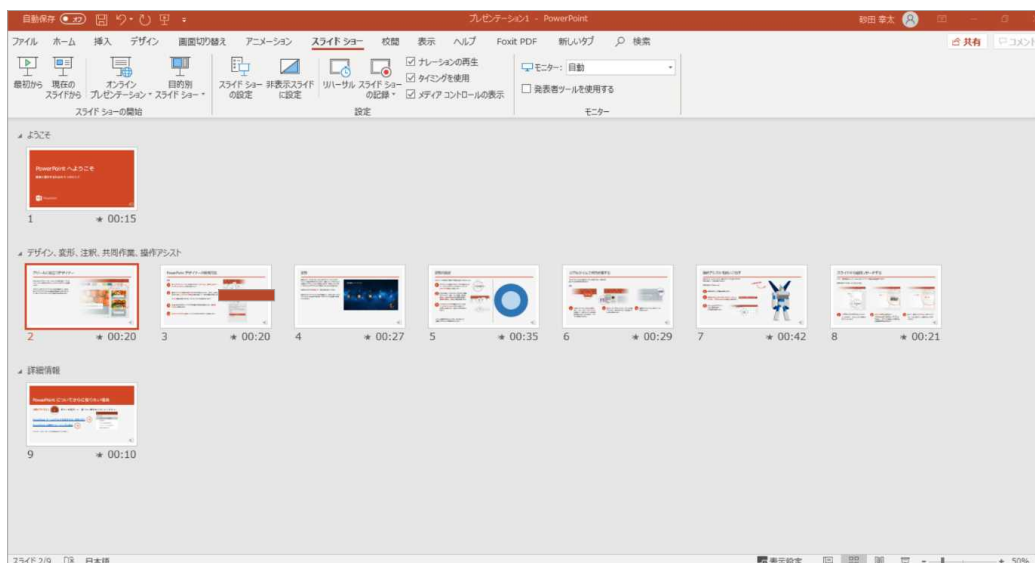
マウスカーソルは、記録されません。【Ctrl+L】を押して【**レーザーポインターモード**】をご使用ください。
レーザーポインターではスライド送り、動画のクリックはできません。



最後まで進めると自動的に録画が停止になり



▶ ボタンでもう1枚進めると**スライド一覧**に戻ります。



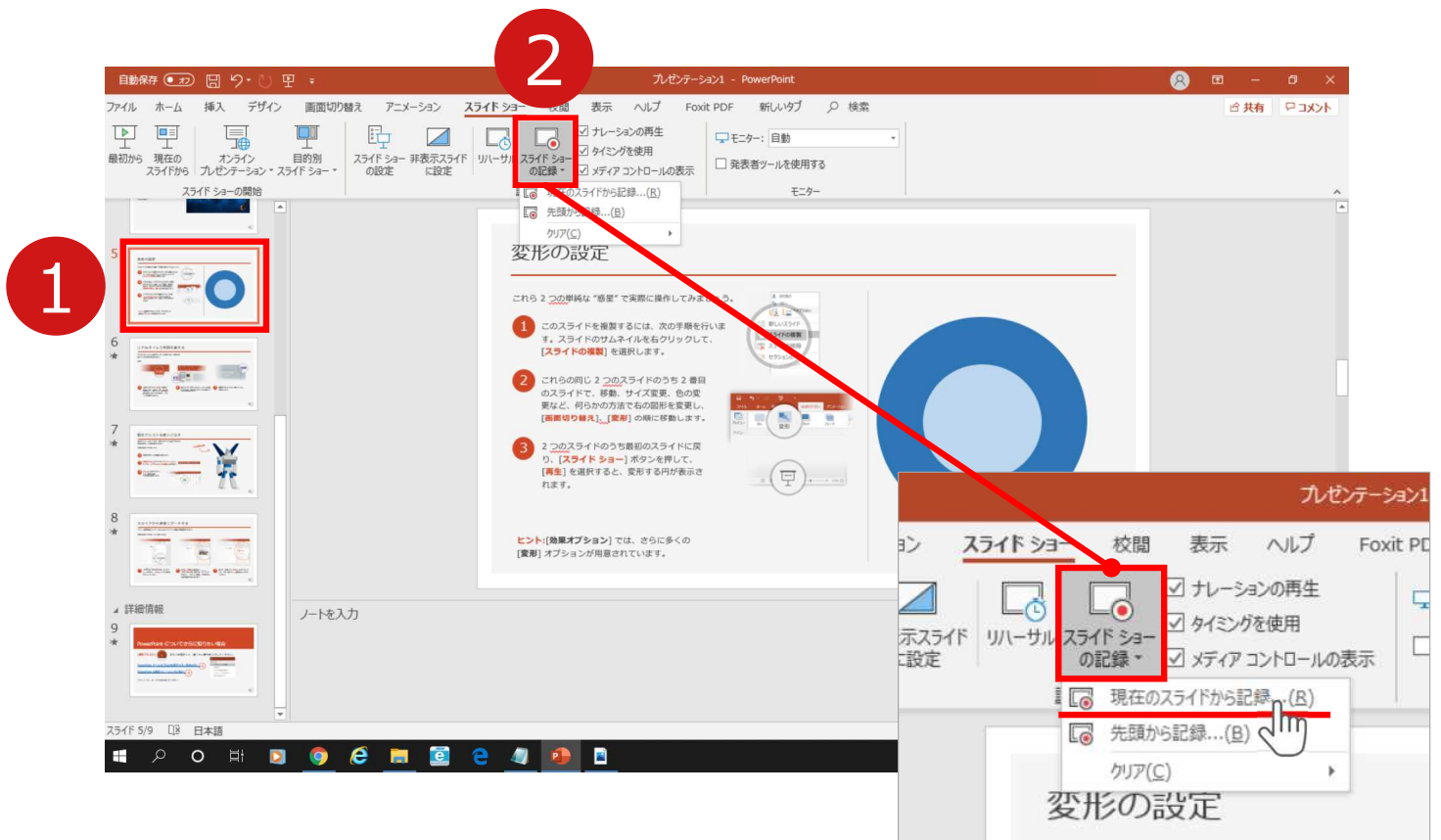
PowerPointファイルを保存してください。
【ファイル名】は【**演題番号_演者名**】としてください。



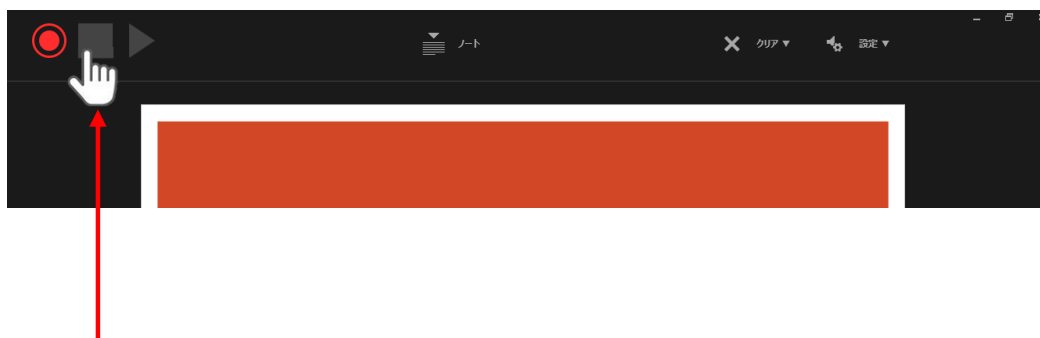
保存したファイル（音声付きスライド）は**スライドショー**にて、
音声やスライドのタイミングに問題がないか確認してください。

記録（修正）

修正したいスライドから記録を始めることができます。

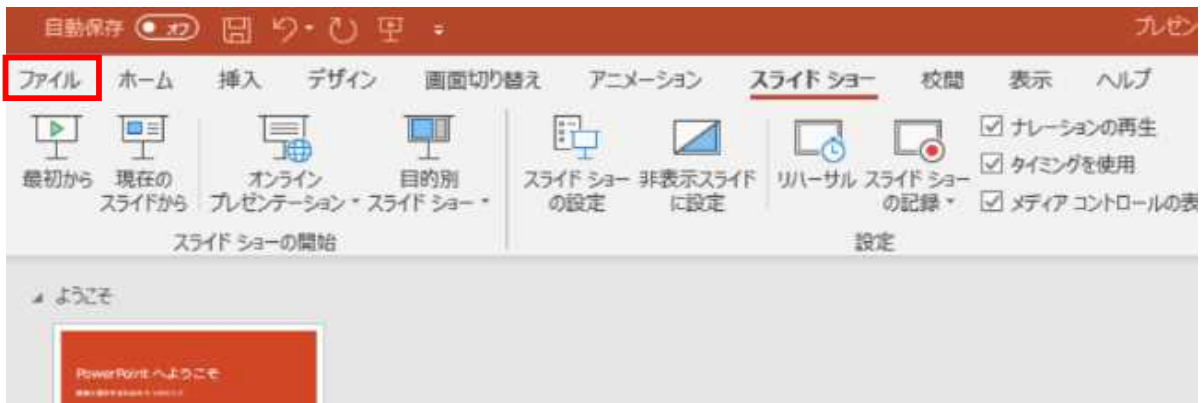


- 1 修正したいスライドを選択。
- 2 【スライドショーの記録】 → 【現在のスライドから記録】 を選択し、記録画面に進んでください。



記録を終了するには、停止ボタンを押してください。

変換（書き出し①）



ファイルメニューの【ファイル】 → 【エクスポート】を選択、

ビデオの作成

プレゼンテーションを、ディスクへの書き込みや Web へのアップロード、電子メールでの送信ができるビデオとして保存します。

- 記録されたすべてのタイミング、ナレーション、インクストローク、レーザーポインターの動きが組み込まれます
- アニメーション、画面切り替え、およびメディアも保存されます

🔗 [スライドショービデオの DVD への書き込みや Web へのアップロードのヘルプ](#)

HD (720 p)
中ファイル サイズおよび中程度の品質 (1280 x 720)

記録されたタイミングとナレーションを使用する
タイミングが設定されていないスライドでは既定の長さが使われます (以下をご覧ください)。このオプションは、インクとレーザーポインター...

各スライドの所要時間 (秒): 05.00

ビデオの作成

【HD (720P)】
【記録されたタイミングとナレーションを使用する】
になっている事を確認してください。
表記が違う場合は、項目横の▼で該当項目を選んでください。

【エクスポート】 → 【ビデオの作成】 ※ HD(720p)を選択してください。

❗ のビデオ設定を確認。

確認後、左下にある【ビデオの作成】ボタンをクリックしてください。

変換（書き出し②）



ファイルを任意の場所に保存します。

【ファイル名】は **【演題番号_演者名】** としてください。

【ファイルの種類】が **【MPEG4ビデオ (.mp4)】** になっていることをご確認ください。

間違いなければ **【保存】** をクリック



【保存】 をクリックするとPowerPointのウインドウ下部に作成中のバーが現れますので終了するまでお待ちください。

✓	注意・チェック項目
①	完成した動画は、事前に必ずレビューいただき、音声やスライドのタイミングが問題ないか、再生ができるか等ご確認ください。音切れの有無に加え、例えば、メールや電話の着信音やシステム音が入り込んでないか、周囲の音が入っていないか、キーボードのタッチ音や書類をめくる音など目立つ雑音がないか、などもご留意ください。
②	録音が終了した後に、必ずPowerPoint または Keynoteデータ（音声付きスライド）の保存も行ってください。 動画データ（mp4ファイルまたはWMVファイル）およびPowerPointまたはKeynoteデータ（音声付きスライド）両方のアップロードが必要です。